

都道府県ニュース

What's happening in your district

和歌山国体沖縄

予選会

資料提供：

沖縄県、盛 龍也

らかに高いスクワットでした。去年あたりから足を痛めておられると小耳にはさんでいましたが、2回目も、3回目も、なんとか必死に深くしゃがもうとされる気持ちが伝わるスクワットでしたが、残念ながら十分の深さまでしゃがめず、失格してしまわれました。体調は、万全ではないようでした。

しかし、こういった数々の修羅場を幾度となくかいくぐってこられた世界の伊差川選手、また、いずれ、復活されることを期待しています。

沖縄の新事務局長の藤田さんに、大会結果をいただきましたので送ります。

(編集部；結果は記録欄に掲載させていただきました。)

3月1日、和歌山国体公開競技九州ブロック派遣選考会、沖縄県予選会が開催されました。各クラスの1位の選手が六月に福岡にて開催される九州ブロック大会に県代表で出場するとのこと

です。
注目選手は伊差川選手とフルギアを着こなせば、ゆうに800kgはこえるであろう74kg級ジュニアチャンピオンの比嘉選手でしたが、比嘉選手は、ジャパクラシックで、優勝を目指す事に全精力を傾けたいということで、今回は、出場しないとのこと、少し残念でしたが、ジャパクラシックではぜひ、チャンピオンの座を獲得していただきたいと思います。

59kg級、伊差川選手は、スクワット135kgでスタートでした。伊差川選手にしては、軽い重量で、ものすごく軽く立ち上がります。ですが、明



ジャパクラシック74kg級で見事優勝した比嘉選手。デッドリフト291.5kg、トータル684kgの一般の部の日本新記録を樹立されました。写真は、JPA監事、国際審判員の物江毅氏にいただきました。